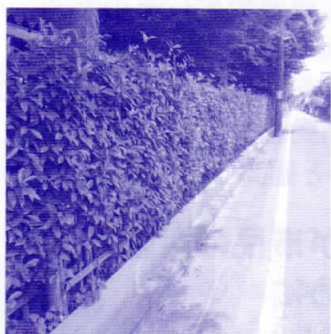


市内のブロック塀などは 早急に生け垣かフェンスに！

6月の大阪地震では小学校のブロック塀が倒壊し、登校中の3年生の女の子が犠牲になりました。

生活者ネットワークでは宮城県沖地震でのブロック塀事故を教訓に、その危険性を指摘し、フェンスや生け垣に変えるべきと訴えてきました。市は、通学路を一部生け垣に改善しましたが、今回の事故のあと緊急に公共施設を調査しました。



万年塀を生け垣に替え、防災と緑化を兼ねている(写真は一小西側の通学路)

危険が予測される箇所を優先に、公共施設だけでなく、通学路に面する家屋を含め、生け垣やフェンスへ早急に改修することを引き続き求めていきます。

公共施設のこれからは市民参画

「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」
の基本理念をもとに

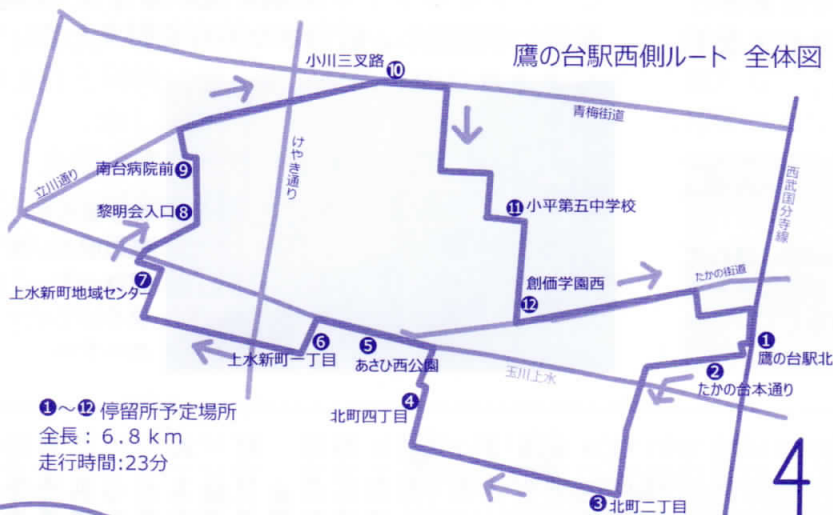
将来的な課題の「人口減少・少子高齢化」「施設の老朽化・建て替え時期の集中」に向けて、市は公共施設の延べ床面積を2062年度までに2割以上削減する方針です。

現在、市は耐用年数到来に近い中央公民館、健康福祉事務センターについて、今年度から来年度にかけて基本計画を策定する予定です。

また、小川駅西口再開発事業では

建築物のうち1・5フロア分を公共床として市が取得し、既存の公共施設を機能移転したり複合化していく話がでています。

再開発事業と公共施設マネジメントを別々に動かすのではなく、トータルを考え、施設利用の当事者である市民の意見をもとに決定し、すすめていくよう強く訴えています。



コミュニティ・タクシー南西部地域 鷹の台駅～上水新町～小川町一丁目 循環ルートで実証実験運行開始！

公共交通の空白地帯だった南西部地域でようやくコミタクの実証実験運行が7月30日から始まります。鷹の台駅から上水新町～南台病院～小川三叉路～五中など12の停留所

を通る循環ルートです。実証実験は2019年1月までで、南西部地域では上水本町ルートでの実証実験運行も行い、市民による話し合いをもとに、正式なルートを決めていきます。

お年寄りや小さな子ども連れ、障がい者などが外出しやすくなるよう1日も早い本格運行を求めています。

皆様からの
ご質問、ご意見等
をお待ちしています



お問合せ先

◆生活者ネットワーク事務所

電話・FAX／042-3442-4494

メール／kodaira@seikatsusha.net

◆議会事務局

住所／小平市小川町2-1333〈小平市役所7階〉

電話／042-3446-9566〈内線3012〉